

1. 自治会役員のなり手不足

《発 言 要 旨》

- 自治会員のほとんどが仕事をしているため、役員のなり手がいないという問題がある。また、仕事をしながらだと次期役員を探す余裕もない状態となっている。
- 最初は副会長が全員仕事をされていなかったで、そこまで負担がなかった。今は働かれる方も増えて、役員をお願いしても様々な理由で断られてしまう。これまでも役員に対して負担が掛からないよう、足りない部分をフォローすることを約束して何とか引き受けてもらった。そこまでしないと、なり手がいないという状況がある。
- 若い世帯の転入者が多いため、自治会全体でどういう年齢の方がどこに住んでいるのかということが不明瞭な状態である。
- 次期役員候補を選定するうえで、役員経験者の声を載せることも有効だと思う。「役員＝大変・面倒臭い」というイメージを持っている人はかなりいると思う。
- 自治会活動には、その地域に住んでいる方が多く参加すべきだと思う。そういう点では、役員も輪番制にする等、より多くの方が役員を経験するような仕組みを考えていかないといけない。そのためには、誰がやってもできる内容に変えていく必要がある。今の自治会長は様々な面できめ細かく対応してくれているが、これを他の方が同様にできるかといったら多分できない。それではいつまでも自治会長のなり手が見つからない。
- 隣近所の家族構成がわからないため、次期役員を探すといっても誰にお願いすれば良いのかすらわからない。
- 自治会役員の負担を軽減し、なり手確保に繋げるため、今年度①あじさいまつり前の県道の掃除②クリーンデーでの花植え③夏祭りのための企業からの協賛金集め④不燃ごみの立会い⑤自治会館の清掃回数⑥12月と1月の組長会議の廃止 の以上6つの業務を縮小・廃止した。
- 40代の意見として、自治会役員をやってまで自治会に入りたいかというと、そもそも自治会が何か分からない。そういう風に若い人に見られていることが問題だと思う。
- 自治会役員のなり手不足は、子ども会に顕著に出ている。これまでは、5・6年生の保護者に役員をお願いしていたが、現状では3年生くらいでお願いしている。
- 役員を依頼しても断られてしまい10年以上役員を務めている。部員の方が助けてくれるが、その方も高齢になってきている。役員のなり手不足の解消は思いがある人に出会うまでは解決しない。
- これまで、他の自治会よりも比較的スムーズに役員が決まる雰囲気があったが、今後は次の世代で決めるのは難しく感じている。私の次の世代でやってくれる人がいるか不安。
- 65歳以上の方の名簿を作成して、候補を絞ったうえで役員の交渉に回っている。今の役員の任期もあと1年となり、来年の総会のことを考慮すると年内に決めておく必要がある。

- 役員のなり手を探すのは本当にハードルが高く、経験者にも幅広く入ってもらって議論を深めていくことが大事だと思う。
- 仕事等の理由から自治会活動に参加できず、自治会活動のことがわからないため役員を引き受けない方も多いのではないかな。
- 役員を断られる理由としては、仕事が忙しい、海外出張等が挙げられる。65歳まではまだ働かれている方も多いので、70代の方を探すしかない。
- 令和2年3月に副会長、令和3年3月に自治会長、副自治会長（会計）の任期が満了となる。次の役員候補を探しているが、未だに見つからず、このままでは役員が不在となる。
- 役員のなり手がいないのであれば、事業も縮小して、部がなくなったらそれはそれで良いのではないかな。必要ならまた復活させれば良い。
- 自治会の3役を決める時に選考委員会を開いている。候補者を約20名リストアップし打診したが、健康上の不安や忙しさを理由に断られた。候補者たちは、3役は仕事が多いというイメージを持っていたため、仕事量を減らさなければならないと選考委員会で話し合った。
- 働き方改革の影響で70歳まで働く方が増えてくると、今後役員のなり手候補がいなくなる。また、高齢の独居世帯も多く、そうした方には組長もお願いしにくい。
- 役員のなり手不足対策として、役員の女性登用に向けて何か対策がとれないかと考えている。今は役員選出の候補に女性を入れていないが、女性を含めれば案外スムーズに決まるのではないかなと思う。それには男性側も意識を変える必要がある。
- 選考委員会を立ち上げて、情報が少なく組長の候補者が挙がってこない。
- 部員を育てると、部長への移行がスムーズになる。組長や組長以外の方を部員にする等、部員を増やしていくのも一つの方法ではないかな。
- 自治会の3役（自治会長・副自治会長（2人））については、候補を決めてもなかなか引き受けてもらえない。また、部長は基本的には組長から選ぶことになるが、組長は1年ごとに変わるため、部長の引継ぎによる負担が大きくなっている。定年の延長や役員の高齢化もなり手がいない一因だと考えられる。
- 次期役員を選出するため、歴代の自治会長や婦人会、青少年指導員等、約20名の候補者をリストアップした。一人ずつ当たったが、見つからず自分が二期目をやることとなった。今年度についても、5部会の役員決めをしているが、ほとんど候補者がいない。

2. 加入促進

《発 言 要 旨》

- 日本人の特性としてオープンショップだと興味がない。クローズドショップにしてその足かせは何にするかという話だと思う。良いか悪いかは別だが、例えば自治会に入らなとごみが捨てられないとかアパートに住むには自治会費を払わないと契約できない等、1つの義務を伴ったルールを作る。逆にそこまでしなければ加入には結びつかない。

- 東日本大震災があり防災意識の高まりに対して、自治会に入るとこういうメリットがある等の共助の必要性をPRしていくことが大切。
- 他の地区と比べて加入率が低いことが課題である。集合住宅に住んでいる方は、個別訪問してもほとんど対応してくれない。こういう人たちを防災時にどう対処するのか課題だと考えている。
- 自治会に入ると抜けられないし、役員をやってしまうと負担が大きいといったイメージがあるのだと思う。実際に個別訪問していても、その辺の負担感について聞かれることが多い。そういった時に、負担はそこまで重くないことをアピールしている。また、併せて自治会に加入することのメリットも示す必要がある。
- 歩道の舗装などは、自治会を通して町に要望を出すことによって、町に対応してもらうことができる。このように、自治会に加入することで、自分の要望を実現させるため、町に働きかけられるのはメリットと言えるのではないだろうか。
- 転入者に対して近所の人が声をかけてくれている場合もあるが、それでも入らないと言われてしまうとそれ以上は言えない。
- 町のサポートが手厚く、自治会に入らなくても不自由なく生活できている方が多いので、加入しない面もあるのではないかな。
- 自治会に入らないデメリットを理解されていない方が多い。
- 時代の流れで濃厚な人間関係を望まない方が増えていることが自治会加入を妨げている。昔は葬式も自治会で手伝っていたが、今は家族葬が増えている。
- 賃貸住宅にお住まいの方は、子どもの小学校入学を機会に家を買う方が多いため、小学校に入学を控える子を持つ親をターゲットに、町や小学校の魅力を説明しながら加入促進を行っていけばよいのではないかな。
- 母子保健推進員なので、3か月健診と6か月健診で問診票を届けに戸別訪問する際、自治会に入っていない方には、自治会の活動や災害時の避難先等を説明している。おしゃべり会に参加している方にも、自治会行事の紹介をしているが、賃貸住宅に住んでいる方々は、いつか転居する等の理由から自治会への加入は難しい。

3. 町への要望（加入促進）

《発 言 要 旨》

- 自分の不在時に自宅が火事になったとき、近所の方が初期消火してくれたり、その対応をするために自治会で月1回機器の点検をしてくれているといったことは説明しないと転入者にはわからない。私も加入して初めてわかった。自分に身近な例を提示することが大切で、町としてもそうした部分をクローズアップした説明をお願いしたい。
- ごみや防災の部分をクローズアップして、加入促進をお願いしたい。
- 防災面や防犯面から地域がつながっていくのは大切だと思う。最近は特にその必要性が高まっている。その観点で転入者に対して、さらに自治会への加入を勧めてほしい。なぜ

自治会が必要で、なぜ入るのかを説明しないと転入者に伝わらない。

○転入手続きの際に、開成町のことをよく知る職員を配置し、町の良さ（パークゴルフや祭りなど）の説明や、それぞれの自治会活動を紹介しながら加入促進してほしい。

○自治会加入に対して、町の支援をもっとお願いしたい。そもそも、町として自治会への加入を義務付けできないか。防災については、自治会に入っていない人のことも考えなければいけないため、不公平感がある。

4. 町への要望（役員のなり手不足）

《発 言 要 旨》

○自治会3役のなり手について、個人情報等の事情があるのは承知しているが、3役候補のリストアップを町でも支援してほしい。自治会で持っている情報が固定化してきている。

○町のことを良く知っているという点で、例えば役場職員のOBに自治会役員を務めてもらうことはできないか。

○自治会役員のなり手不足の問題については、リーダーというもののイメージで、身を引いてしまう人が多いのではないか。リーダーに押し付けるのではなく、リーダーと一緒に協力していくといった雰囲気が大事だと思う。そのため、リーダーを育てる・支えていくといった内容の研修会を設けてほしい。

5. 町への要望（役員の負担軽減）

《発 言 要 旨》

○現状は、働いている人が会長を務めることができないシステムになってしまっているため、業務のスリム化を図っていただきたい。今の時代は色々なやり方・技術があるので、それを活用して負担軽減を図っていただきたい。

○働きながらできることを考えてもらいたい。私自身もまだ働いているが、できるなら両立したいという気持ちはある。負担を軽くしてもらえればなり手は増えるのではないか。地元生まれなので役員を受けなければという意識はあるが、転入者はそういう感覚ではない。

○役員のなり手不足の要因として会議に出席できないからというものもあると思う。会議回数の縮減も有効だと思うが、参加する形態も変えていかないとこれからの方には引き受けてもらえなくなってしまうと思う。これだけデジタル化が進んでいる中で、町として新庁舎建設に併せてその辺りは検討しているのか。

○自治会長になって思うことは、自分の時間がほとんどない。平日はフルタイムで働いており、加えて自治会の業務となると手が回らない。これからは、定年延長で、60歳を過ぎても働いている方の割合は増えていくと思う。そうすると、これまでの自治会長の業務量では引き受け手が今以上にいないと思う。自治会長の負担が少なくなる方向で検討をお願いしたい。自治会長になりうる候補者は何人かいるが、今の業務量ではこちらもお

願いにしにくい。

- 現役で働いている方が自治会役員をするために、広報の配布などの平日の自治会業務をなるべく減らしてほしい。
- 町の会議がほぼ毎月あるので、もう少し減らせないかと思う。防災訓練前の会議について、長年やっている人は要らないかもしれないが、私のような新任はわからないので会議をやってほしい。一律ではなく状況により柔軟な対応をお願いしたい。
- 自治会に依頼して終わりと思っている町職員が見受けられる。自治会と一緒にやっていくということであれば状況をこまめに確認して必要であればフォローする等、もう少し丁寧な対応をお願いしたい。
- 自治会長の負担減という点で言うと、町の様々な会議を1日に集約してほしい。例えば午後に自治会長連絡協議会が入っていると、結局1日会社を休むことになる。仮にその日の午前に別の会議を入れてくれれば2日休む必要がなくなる。うまくスケジュールリングしてくれれば助かる。
- 民生委員等、町から依頼される自治会以外の役員の数が多く、このことも自治会役員を断られる理由として多い。
- 同じ日に複数の会議を行う等の工夫をして負担を軽減してほしい。
- 役員が自治会の運営に専念できるように、役場から割り振られている仕事を返納していきたい。そうすれば自治会のことにより注力できるようになるのではないか。
- 青少年指導員や民生委員、農業委員などの人選について町から依頼され、自治会の3役や部長決めもままならない中で負担に感じる。
- 町の委員会等で自治会長の充て職があるが、本当に必要か再度検証してほしい。
- 体育部は町イベントの人数集めの部になってしまっていると思う。本来は自治会員が健康的になるためにあるのだと思うが、自分から見ると人集めに苦労しているように思える。

6. 町への要望（広報配布・情報発信）

《発 言 要 旨》

- 毎月2回の広報の配布がかなりの負担である。例えば広報を郵送することは可能か。
- 町からの配布物に関して、1日と15日で配布量に差があるため、バランスを取ってほしい。量が多いと広報の届く時間が遅くなり、その結果、待ち時間が長くなる。
- 各家庭にタブレット端末を導入してもらえれば広報を配る必要がないのではないか。
- 町のおしらせ版を月2回発行しているが、月1回に集約すれば役員の負担も減る。
- 組の中で広報の配布は不要という世帯がいた場合、その世帯分を除いて配布することはできるか。
- 広報配布を希望しない世帯に向けた電子媒体による情報発信は可能か。
- デジタル化も進んできたので、情報の伝達手段も従来の紙媒体から電子媒体へ切り替えていく必要があると思うが、全てをデジタル化に切り替えてしまうと高齢者に情報が届か

なくなってしまう。そのバランスをどのように取るのかが非常に難しいと思うが、良い方法を検討してもらいたい。

7. 町への要望（環境）

《発 言 要 旨》

- ごみ出しのルールを守らない住民が多く苦労している。役場窓口でしっかりと転入者に説明しているのか。
- ごみ置き場のパトロールを実施しているが、特定の場所だけルールが守られていない。このような場所に防犯カメラを設置してほしい。
- アパートは建設の際に、専用ごみ置き場の設置をオーナーにお願いしてほしい。
- 最近はペット可のアパートが増え、近所でフンの始末がされていないことが増えた。環境的に良くないため、町から業者に対し、入居者に注意喚起するよう指導してもらいたい。
- ごみ出しのルールが守られていない。マナーの悪い事例を広報で取り上げてほしい。

8. 町への要望（防災）

《発 言 要 旨》

- 町から自治会が持っている防災備品の調査があったが、町から各自治会で揃えるべき防災備品を示してほしい。また、揃えるべき防災備品が不足しているようであれば町から支給してほしい。
- 町内にある放送スピーカー用の鉄塔にマイクを接続し、拡声器として使用しているのを見たことがある。自治会で所持している機材の音量が小さいため、防災訓練時等に声が届かない。各公園にもスピーカーを設置してほしい。
- 防災行政無線が台風時に何も聞こえない。現状、フリーダイヤルも2回線しかなく繋がりにくい。
- 防災行政無線の放送について、振り込め詐欺の防止や行方不明者のお知らせ等、最初に目的を言ってほしい。そうすれば最後まで聞かなくて済む。
- 災害が起きた場合、広域避難所が設置されるが、様々な自治会から人が集まってくるため、初対面の方と連携して動けるか不安に思う。今は広域の避難訓練が5年に1回のペースであるが、もう少し他の自治会と連携して実施するような避難訓練を開催できないか。
- 今年度の広域避難所訓練では多くの町民が集まったにもかかわらず、実践的なことはやらず説明だけで終わってしまい、何のために集まったのかわからなかった。町民は、応急手当や簡易トイレの組み立てなど実践的な訓練を望んでいる。

9. 町への要望（その他）

《発 言 要 旨》

- 開成町のホームページから各自治会のホームページにいくまでかなり時間がかかる。ホー

ムページのトップページに、各自治会のホームページへのリンクを設けて、各自治会の活動がPRしやすいようにしてほしい。

- 子ども会の行事がある日は、町の少年少女スポーツ団体に練習や試合を入れないように役場からお願いすることは可能か。
- 足柄大橋下のふれあい館のトイレは、早朝からサイクリングコースの利用者がたくさんいても、トイレが土日祭日は午前10時からしか使えない。1か所だけでもトイレが使えるようにしておいてもらいたい。水辺スポーツ公園のトイレも午前8時30分にならないと開かない。ふれあい館か水辺スポーツ公園のどちらかのトイレが開いていれば早朝にサイクリングコースを利用している人が助かると思う。
- ごみ集積所のネットが穴だらけになったので取りに行ったら「どうぞ付けてください」と渡された。そういう部分は役場がやるものではないか。
- 公民館近くのゴミ屋敷について、町から指導はできないのか。
- 時刻表の間隔を見直してほしい。例えば、巡回バスを使って買い物に行き、帰りにバスを利用しようとする、今の時刻表だと間隔が30分弱しかない。かと言って、次のバスだと2時間後になるためもう少し使い勝手を良くしてほしい。
- 自治会の子どものイベントにあじさいちゃんが登場すると盛り上がるので、来てほしい。
- 自治会長連絡協議会のような、副会長が集まる会議も1回は設けてほしい。
- 自治会サポーター制度を復活してほしい。
- 阿波おどりの町からの補助が今のままでは全然足りない。連が主体となって実施している自治会は余裕があるが、自治会が主体となっているところは経済的に非常に厳しい。今までも重ねてお願いしていることではあるが、このことについてはどう考えているか。
- 自宅から文命中学校まで距離があるため、自転車通学は認められないか。保護者として子どもを長時間歩かせるのは、防犯上心配である。
- 町から借りるテントやパネルが相当痛んでいるので整備をお願いしたい。
- テープが取れていて、テントの脚と梁の組合せが分からない。テープの色分けなど整備をお願いしたい。
- 4～5月に福祉部の会議で災害時要援護者の名簿を作成し、町に提出しているが（町からの依頼）、名簿に不備があることが多いので、出来れば町職員に同席してもらい指導してほしい。
- 福祉部で高齢者のサロン会を開催するため、75歳以上の対象者を知りたいと役場に申請したところ、台帳を閲覧して書き写すように言われた。これを毎年やるのは大変なので、資料のコピーをいただきたい。
- 夏祭りで備品を町から借りるのにどうしてもトラックが必要。去年は地域の人をお願いして借りたが、できたら町のトラックを貸してもらえないか。
- 借りた町の備品（テント）の返却を土日でも対応してほしい。平日に仕事を休んで返却し

なければならないため、できれば土日でも受け取る体制を整えてほしい。

10. その他

《発 言 要 旨》

- 子ども会や育成会等の役を避けるために、私学に通わせる親もいると聞いている。
- 今年は子ども部を新たに創設した。偶然にも子ども会長を務めていた方が組長にいたため、子ども部長に就任してもらった。そのため、子ども会に任せていたことを、自治会側が急にやることになっても今年に対応できるが、来年子ども部長が交代したら、どうなるかは分からない。
- 子どもとの接点を作るのが難しいと感じる。今まで子ども会の時は縦のつながりがあったが、自治会になると縦のつながりを作るのは難しい。特に今後、そのような繋がりを維持していくのは難しいと考える。
- 24人の組長のうち女性は1名で、現役世代が割と多い。最初は不安な状態で組長会議に臨んでいたが、10月を過ぎるとだいぶ仕事を理解しているように見える。この年齢の世代が自治会の活動に関わってくると活気が出てくるのではないかと思う。
- 若い方の参加を促すため、自治会の仕事に組長を組み込んだ形にした。イベントなどを開催する際は、分野ごとに組長を入れたグループ制とした。自治会というよりは、組の活性化が必要だと思う。
- 町民集会で年配の人に意見を聞くよりも、中学生や高校生等、若い人の意見を町政に反映させてはどうか。そうすると自治会の負担もわかってくるし、どういう形で進めれば良いかが見えてくるのではないか。
- 地域の活性化をテーマにしてアイディアを出すためのワークショップをやっている自治体もある。若い人や普段参加しない人の意見を聞くために無作為に抽出した方に案内してワークショップを行っている例があった。
- 仕事をしている方の年齢が年々上がっているため、自治会運営も時代に見合った方法に変えていくべきではないか。
- 子ども会は、母親の横のつながり、コミュニティも出来ていたので、その点では有効な会だった。
- 子ども会の解散をきっかけに、体育部などもなくなってしまうのではないかという危機感を持っている。
- 全ての行事に参加することが出来ないで、子ども会には入らないという方が多いのであれば、行事ごとに参加者を募り、その中で保護者同士もつながりを持ってもらえばよいのではないか。
- 学年が上がるにつれて、習い事などが増え、休日に子ども会の行事に参加できない子どもたちが増えてきている。
- 子どもにとって魅力的な行事が少なくなっている。手間がかからず、簡単で楽しいものが

理想的（すいか割りなど）。

- 子ども会の本質で大事なものは、行事に1回でも参加し、地域の大人と触れ合うということと、保護者の自治会への入り口にするということ。形にこだわらず、その本質を守っていければよいのではないか。
- 若い世代に担ってほしいのであれば、自治会の活動も変えていく必要があると思う。
- 今の体制では、自治会活動が先細りになるのは目に見えているので、幅広い年代・女性等が参画しやすい体制に変えていかなくてはいけないと思う。そのためには、若い方の意見を聞く必要がある。特定の人たちだけで集まっても良いアイディアは出ない。いかに若い世代（特に女性）を自治会活動に巻き込んでいくのかが課題だと思う。
- 有事の際、近所の方の助けが重要だと感じている。自治会はそういう面でも重要な役割を果たしていると思う。実際に役員をやって大変なこともあったが、貴重な経験をさせてもらった。今後も自分と同じような考えを持つ方が少しでも増えてもらえるような自治会にしていきたい。
- 若い人たちをどうリーダーとして育てていくかが課題だと認識している。若い人に任せて、年齢が上の人はサポートに回るといった運営方法がよい。
- 自治会に参加してくれる人は非常に協力的である。転入してきたため、周りとのつながりを作っていきたいという方や、地域を良くしていきたいという方が多い。最初の滑り出しはよかったが、継続的に魅力ある自治会にしていくために今後どうすべきかが課題だと考えている。
- 自治会の役員はできる限り若い方に務めていただきたいと考えている。昔の基準で考えても打開策は見つからない。これからは若い方たちの目線で自治会を運営していくべきである。